

東部エリアの推しMAP



東部
エリア

東部エリア在住5年以上の先輩に聞きました

「あなたの街の魅力を教えてください！」

我孫子市の東部を走るJR成田線沿線は、駅の近くに住宅街が広がり、自然も豊かで暮らしやすい地域。そこに住む人たちに街の魅力を聞いてみると…?

自分の好きな景色を子どもと楽しめる
人の温かみが感じられる街

兄弟で通っているスクール
BBA
サッカースクール



FIFA公認モデルの人工芝を使った、我孫子市初のフットサル施設です。コートレンタルのほか、幼児・小学生対象のBBAサッカースクールも運営。強化クラスと育成クラスがあり、生徒の能力や目的に合わせた指導を行っています。
■我孫子市中里224-7
https://bba-soccer.com

こほく
湖北

竹内さんファミリー

優美さん・柚葵(ゆずき)くん・颯葵(さつき)くん・結ちゃん

竹内優美さんは我孫子市湖北出身で、「我孫子から離れたくない」という気持ちが強く、結婚後も湖北に居を構えました。「都会すぎず、人の多さも適度で住むには丁度いい街。庭のある家があったので、戸建てを探し、今の家を中古で購入しました。夏は庭でプール遊びをしたり、ひまわりなどを植えたり。子どもたちが家で遊べるのは魅力的です」と優美さん。夫も、のびのび子育てできる今の環境に満足しているそう。

小学3年生の長男と保育園年長の次男は、2025年3月からそろって「BBAサッカースクール」に入学。「あびっ子クラブや学童保育なども利用していますが、BBAに入ってから練習のある日は自発的に行くようになりました。友達とチームで協力し合いながら上達していくのが楽しいみたい。打ち込めるものが見つかってよかったな、と思っています」

ここがイチ推し 湖北台中央公園 「あびこ産業まつり」



湖北台中央公園では、9月に「あびこ産業まつり」があります。私の小さい頃からずっと行われていて、幼少期に楽しんでいたお祭りで、自分の子どもと一緒に楽しめるのがうれしいですね(優美さん)

ふさ
布佐

森田さんファミリー

秀樹さん・奈夫子さん

大手ゼネコン勤務のため、転勤を繰り返していた森田さん。子どもが小児喘息になり、空気のいい環境で子育てをしたいという思いから、夫の秀樹さんの実家である布佐に戻ったのだそう。その後、早期退職して家業の稲作農業を引き継ぎ、妻の奈夫子さんは自宅の一面で夢だった洋菓子店を開店。夫が作る無農薬米を粉にして焼き上げるお菓子が人気です。転勤族から布佐に定住することになった奈夫子さんは、「住めば都と言いますが、自然が豊かで空気がきれいだし、ほどほどに田舎でいいところですよ。大きなスーパーが3つもあるので便利です」

「実は東京・中野に住んでいた娘夫婦も、数年前に布佐に移住してきました。千葉ニュータウン駅へも出やすいので、都内へは十分通勤圏。大型ショッピングセンターも多いので、孫たちと遊ぶのにも困らないですね」と秀樹さん。布佐は世代を超えて、移住先として魅力がある街といえます。

夫妻が営む洋菓子店
アン・プティ・スリー
Un Petit Sourire



ヨーロッパの田舎町を思わせるお店には、地元の新鮮な果物などを使ったケーキや米粉を使ったシフォンケーキ、クッキーなどが並びます。伝統的なフランス菓子の技を継承した、わざわざ行きたくなる「農家の洋菓子屋さん」です。

■我孫子市布佐2109-30
https://un-petit-sourire.jimdofree.com

ここがイチ推し 栄橋南詰交差点から 見た街並み



栄橋南詰交差点のあたりはちょっと高くなっていて、ここで立ち止まって布佐の街を見渡すと、ドローンで見たような景色が広がっています。ぜひ散歩してみてください(秀樹さん)

手賀沼を望む田んぼの景色が好きですね。冬は富士山も見えて、とてもきれいです(奈夫子さん)

ここがイチ推し 手賀沼公園 「わくわくWORKフェス」



我孫子に恩返しがたくて、お店の常連の方と始めたイベントです。キッズマーケットやカメラレッスン、乗馬体験、缶バッジづくりなどのワーク体験やキッチンカーなど、子ども大人も楽しめる「おしごと体験」イベントです。今年も11月に開催予定なので、ぜひ来てください!(一紀さん)

オーナーを務めるカフェ
cafe
サテンカーリトイボ



カフェの名前の「サテンカーリ」は虹、「トイボ」は希望を意味するフィンランド語で、2人のお子さんの名前から1文字ずつもらったのだそう。看板メニューのオムライスは、カツオと昆布の出汁としょうゆで炊いたライスをさらに炒めて卵で包み、ソースには我孫子の老舗「やまつね味噌」を隠し味に。ここでしか味わえない、優しい味です。
■我孫子市南新木3-14-22
Instagram @cafe_sateenkaari_toivo

あらか
新木

渋田さんファミリー

一紀さん・綾子さん



両親との同居を考え、茨城県牛久市からの移住を考えたという渋田さん。姉が住む利根町と、綾子さんの実家がある柏市沼南町の中間の場所を探し、2011年に新木に移住しました。

「もともと店をやりたいと考えていたので、店舗込みの二世帯住宅を建てました。新木に来て15年、とても住みやすい街だと思えます。越してきたころは駅前もまだ何もなかったのですが、今はスーパーやドラッグストアもできて便利になりました。自然が豊かで田舎すぎず都会すぎない、近所の人もみな穏やかでいい街です」

カフェをオープンしたのは2020年。仕事をしながら資金を貯めつつ、我孫子市が開催している「実践創業塾」に参加し、起業について勉強したそう。「参加費が非常に安価なのに充実した講義内容で、このときの学びが経営の基盤になっています。カフェでは、できるだけ地域の素材を使ったメニューを出しています。お客さんからのリクエストで生まれたものも多いですよ。実は、今も「オムランチ」というメニューを開発中。今年中にお披露目できれば……と考えています。お楽しみに!」

「実践創業塾」とは?

我孫子市が主催する、本格的に起業・創業を目指す方を対象にした講座。マーケティング戦略や労務管理など、起業に関する基礎知識が学べる4日間のコース。

費用 8000円

企業立地推進課
Tel.04-7185-2214



市の創業支援ページ

カフェオープンを目指して住み替え
穏やかな街で夢とマイホーム実現